

災害時に実際に困ることは…?

(令和3年度 特定医療費(指定難病)受給者証更新時アンケートより)

薬が必要

- ・冷蔵保存が必要な薬があり管理が難しい。
- ・お薬が足りなくなったら、どうしたらいいのかな。

トイレが心配

- ・トイレに行く回数が多い。
- ・おむつの準備が必要だな。

食べ物

- ・食事制限がある。
- ・特別な栄養食が手に入るかな?

医療について

- ・人工透析をしているのだが…。
- ・発作時の対応はどうしたら…。

介助が必要

- ・視力が悪いので…。
- ・日常生活に介助が必要。



人工呼吸器・酸素ボンベ

- ・停電の時の対応が心配。
- ・予備の酸素ボンベは足りるかな。

避難場所

- ・プライバシーは守れるかな。
- ・長距離の移動ができるかな

体調管理について

- ・体調に波があるのだけれど。
- ・ストレスで体調が悪くなるかも。
- ・見た目では病気が分かりづらい。

ポイント⑥

災害時には、薬や物資が手に入りやすく、命の危機に直面することもあります。どのような手助けが必要か、具体的に周囲に伝えられるようにしておきましょう。事前に「**難病患者のための災害時個別支援計画**」を記入し、支援者と連携をとっておくと安心です。



ポイント⑦

★『難病患者のための災害時個別支援計画～基本情報シート～』の活用を！

氏名	住所	電話番号	主治医
鹿児島 花子	鹿児島市山下町○番○号	○-○-○	○市○区○町○番○号
緊急連絡先	備考	氏名	住所
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	
○市○区○町○番○号		○市○区○町○番○号	

- ・療養中の方やご家族が、日頃から災害への備え(自助)をしておくためのシートです。
 - ・主治医、訪問看護師、ケアマネージャー等の支援者や保健所に相談をしながら、記入してみてください。
 - ・記入をされましたら、ご自宅の目につきやすいところに貼る、シートを携帯電話の写真に残しておくなどして、緊急時の対応にお役立てください。支援者への情報提供に同意する場合は、写しを渡し、保管してもらいましょう。
- 市HPはこちら↓
- ※「災害時個別支援計画～基本情報シート～」や「災害への備え」については、鹿児島市のホームページにて閲覧できます。



【鹿児島市保健所 保健支援課 Tel099-803-6929】

難病患者さんのための

『みんなで考えよう！防災のてびき』



鹿児島市難病対策地域協議会 令和5年1月改定

災害は、いつ、どのような時に起こるか、分かりません。もしものときに困らないように日頃から準備をしておきましょう。

★はじめに・・・(チェックしてみましょう)

- 非常持出品や備蓄品を確認していますか? ⇒ **ポイント①**
- 防災情報を入手できる手段を確保していますか? ⇒ **ポイント②**
- あなたの住んでいる地域の避難所等を把握していますか? ⇒ **ポイント③**
- 緊急時・災害時の連絡、通信手段を確認していますか? ⇒ **ポイント④**
- 停電の時の対応は準備していますか? ⇒ **ポイント⑤**
- 避難所等での生活について周囲に伝えられるように準備していますか? ⇒ **ポイント⑥**
- どのタイミングでどこに避難するか、日ごろから家族や支援者(主治医、訪問看護師、ケアマネージャーなど)と話し合っていますか? ⇒ **ポイント⑦**



ポイント①

★非常持出品

いつでも持ち出せるように、人数分を1か所にまとめておきましょう。目安は、避難場所で1～2泊できる程度の量です。通帳や保険証、お薬手帳などはコピーして備えると良いでしょう。

<p>生活用品</p> <p>衣類・タオル・缶切り・ナイフ・ライター・ビニールシート・ポリ袋・雨具・使い捨てカイロなど</p>	<p>飲料水・非常食</p> <p>ミネラルウォーター・乾パン・缶詰・栄養補助食品など</p>	<p>貴重品</p> <p>現金・預貯金通帳・健康保険証・印鑑など ※小銭があると電話をかけるときに役立ちます。</p>	<p>避難するとき使う物</p> <p>懐中電灯・ヘルメットなど</p>
<p>家庭に際して</p> <p>生理用品・紙オムツ・紙パンツ・子どものミルク・入れ歯・ペット用品など</p>	<p>情報収集のために使う物</p> <p>携帯電話・充電器・携帯ラジオ・筆記用具など</p>	<p>お薬・救急用品</p> <p>ばんそうこう・消毒薬・胃腸薬・処方箋・お薬手帳・あんしん手帳など</p> <p>お薬手帳も忘れずに!</p>	<p>※ガラスの破片や落下物から足を守る靴で避難しましょう。</p>

★その他、必要な物を書き込んでみましょう!

()

()

()

衛生用品

マスク・簡易トイレ・ウェットティッシュ・歯ブラシなど

★備蓄品

大規模な災害の場合、電気・水道・ガスなどライフラインの停止、物資の停滞が想定されます。

少なくとも3日分、できれば1週間分は備蓄しておきましょう。



ポイント② 防災情報を入手しましょう

- 「安心ネットワーク119」…事前登録したメールアドレスに、災害情報、避難情報、防災行政無線の情報などをメールで配信します。(登録無料)
申し込み⇒「ansin119@kagoshima-fd.jp」に空メールを送信。



<問い合わせ先> 消防局情報管理課 222-0119

- 「鹿児島市LINE公式アカウント」…災害時に避難指示等の発令情報や、避難所開設情報などをトーク画面へ通知します。(登録無料)



<問い合わせ先> 広報課 216-1133

ポイント③

★避難所等について

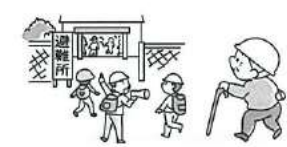
- ①指定緊急避難場所…災害時に危険から逃れるための安全な場所(災害種別ごと)です。
- ②指定避難所…災害が落ち着いた後に、自宅が被災し帰宅できない場合に、一定期間避難生活を送るための場所。
- ③福祉避難所…一般避難所での長期生活が困難な要配慮者(高齢者、障がい者、妊産婦等)を受け入れるための避難所です。

※大規模災害が発生し、長期の避難生活が必要とされる場合にのみ開設されます。
 ※あくまで「避難所」であり、医療や介護サービスの提供はありません。
 ※要配慮者への日常生活の介助等については、原則としてご家族等の支援者にて行っていただくことになります。

- ④津波避難ビル…津波発生時、迅速に避難できるように、堅固な中高層の建物等を一時的な避難施設として指定しています。

○自宅が安全な場合は、自宅に居ることも避難(自宅避難)です。自宅が土砂災害警戒区域内や洪水浸水想定区域内など危険な場合は、避難所等の自宅外へ避難しましょう。

<①～③の開設状況の問い合わせ先> 地域福祉課 216-1244
 <④に関する問い合わせ先> 危機管理課 216-1213



「鹿児島市防災ガイドマップ」や「かごしまiマップ」でも確認できます。



かごしまiマップ



ポイント④

★緊急時・災害時の連絡、通信手段

大規模災害の場合、電話が通じないなどの混乱が生じることが考えられます。

災害用伝言サービス

- ①電話で安否確認 ⇒ 災害用伝言ダイヤル「171」【NTTのサービス】
「171」をダイヤルし、利用ガイダンスに従って、伝言の録音、再生を行います。
- ②インターネットで安否確認 ⇒ 災害用伝言板「web171」【NTTのサービス】
パソコンやスマートフォン等から、災害用伝言板「web171」へアクセスし、画面の指示に従い、伝言を登録、確認することができます。
- ③携帯電話のサイトで安否確認 ⇒ 「災害用伝言板」【携帯電話・PHS各社(NTTドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク、ワイモバイル)のサービス】
各社に設置された災害用伝言板へ安否情報を登録し、携帯電話及びパソコンのインターネット機能を利用して確認できます。※詳しい利用方法は、各事業者を確認してください。

<①～③の体験利用日>

- 毎月1日と15日 ○防災とボランティア週間(1月15日～21日)
- 正月三が日(1月1日～3日) ○防災週間(8月30日～9月5日)



ポイント⑤

★停電への備え(特に人工呼吸器を使用している方)

仮に、停電をとまなう災害があっても、一週間程度は自宅で頑張れることを目標に普段から備えておくことが望ましいです。日頃から主治医や訪問看護師等と話し合しましょう。



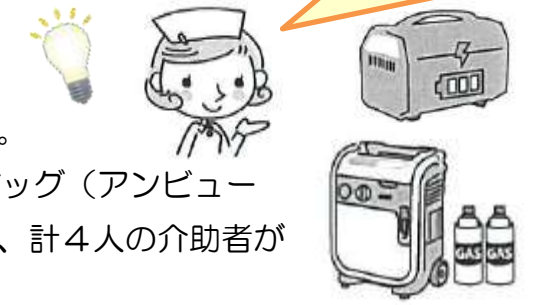
<予備電源の確保>

- 外部バッテリーは常にフル充電された状態にしておきましょう。寿命を越えた外部バッテリーはフル充電ができないため、定期的に新しいものと交換しましょう。

<その他の停電対策>

- お使いの電力会社に、人工呼吸器を使用しており、日常的に電力が必要な状況であることを伝えておきましょう。
- 電源が落ちると設定が初期化される機種もあるため、人工呼吸器の設定値は目につくところに貼っておきましょう。
- 安全に避難するためには、人工呼吸器に代わる手動式蘇生バッグ(アンビューバッグ)の操作に1人、避難介助に2人、荷物の運搬に1人、計4人の介助者が必要になることを想定しておきましょう。

停電が長引く場合には、外部バッテリーのみでは限界があります。予備電源(自家用発電機など)の購入を検討しましょう。



令和3年6月に、防災、防犯、事故防止に関する情報や防災マップなどを掲載した「鹿児島市防災ガイドブック」を市内の全世帯に配布しています。日ごろの備えや緊急時の対応など、ご家庭の安心安全対策にご活用ください。